

# Vol.58 / 新春号

平成29(2017)年2月1日発行  
(年3回7・11・2月発行)

# ひま

## 日農工会報

# わり



### 年頭挨拶

日農工会長  
経済産業省 製造産業局長・産業機械課長  
農林水産省 技術普及課長



### 韓国出張報告



### ベトナムのFoodexpo出展報告



### 除雪機による事故を防ごう!



### 新社長の紹介



表紙撮影 杉本翔太さん

CONTENTS



年頭挨拶

年頭のご挨拶（一般社団法人日本農業機械工業会会長 木下榮一郎）	1
年頭に寄せて（経済産業省製造産業局長 糟谷敏秀）	2
年頭に寄せて（経済産業省製造産業局産業機械課長 片岡隆一）	3
年頭所感（農林水産省生産局技術普及課長 原 孝文）	4



韓国出張報告

日農工専務理事 田村敏彦	5
--------------	---



ベトナムのFoodexpo出展報告

.....	8
-------	---



フォトギャラリー

.....	12
-------	----



フランス見本市協会からのお知らせ

.....	15
-------	----



健康相談

.....	16
-------	----



糖尿病予備軍にならないため!

.....	17
-------	----



除雪機による事故を防ごう!

.....	18
-------	----



日農工だより 地方大会ご挨拶

.....	20
-------	----



新社長の紹介

小橋工業(株) 代表取締役社長 小橋正次郎	22
(株)デリカ 代表取締役社長 金子孝彦	23
新農業機械実用化促進(株) 代表取締役社長 小西孝蔵	24

「表紙」 撮影地：東京ビッグサイト(有明)

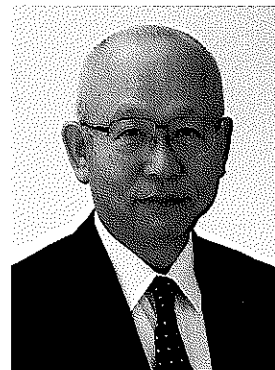
1月6日の出初式です。東京の消防自動車が集結、赤い消防車のパレードは、映画のスクリーン以上の迫力です。この日は、消火体験・応急救護体験・レスキュー体験・起震車による地震体験もでき、外国の消防隊も来て最高です。

茨城県 杉本翔太さん

## 年頭のご挨拶

木下 榮一郎

一般社団法人日本農業機械工業会 会長



皆様、新年明けましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、平素より本会にお寄せいただいております皆様方のご支援とご厚情に対しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の景気は、12月の内閣府・月例経済報告によりますと、「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、穏やかな回復基調が続いている」とされております。依然として海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある状況ではありますが、景気判断は1年9ヶ月ぶりに上方修正されました。

昨年は、6月にアベノミクス第三弾として新たな成長戦略「日本再興戦略2016」が閣議決定されました。農林水産分野においては、「攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化」の方向が示されるとともに、農業機械に関しては、ロボット農機などの「スマート農業の推進」、「生産資材の価格形成の仕組みの見直し」についての検討が進められています。

このうち、「生産資材の価格形成の仕組みの見直し」に関しては、与党・政府における検討を経て、11月に取組方向が示され、今後「農業競争力強化プログラム」に即して具体的な施策が推進されていくことになりました。

農業生産につきましては、一時日照不足の地域や相次いだ台風の来襲などがあったものの、概ね天候に恵まれ、28年産水稻の10月15日現在の作況指数は103の「やや良」となりました。米価につきましては2年連続で上昇し、28年産米の全銘柄平均の相対取引価格は、1万4千円を

超え、ここ数年の平均的な米価の水準に回復し明るさを取り戻しつつあります。

他方、私ども農機業界の状況を日農工統計からみてみますと、昨年1月から12月までの累計生産・出荷実績は、生産額が3,912億円と前年同期比90%、出荷額が4,284億円、同90%で推移しております。この内、国内向けの出荷額は、2,636億円で93%となっております。11月、12月では国内向け出荷額は、前年プラスになっており、今後の回復に期待したいところです。昨年の総括としては、米価の回復や担い手向け大型機械の動きは好調であったものの、排ガス規制やこれに伴う駆け込み需要の反動などの影響を受け、回復が遅れている状況にある、ということだと思えます。足下の状況には、依然として厳しさがありますが、日本の農業が大きく変わろうとする中、農業機械が「農業者のより頼もしいパートナー」として、しっかりと農業の担い手を支える役割を果たしていけるよう努めて参りたいと存じます。

日農工におきましては、こうした動きを適確に捉えて対応していくとともに、技術・安全・環境に関する事業、貿易振興に関する事業等の各種事業を積極的に進めて参ります。

また、本年は日農工女性活躍ネットワークを立ち上げます。今後の有意義な活動に期待しております。

最後になりましたが、本年が農機業界にとって、新たな発展に向けた明るい年になりますよう、また、本日ご参会の皆様のご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭に寄せて

糟谷 敏秀

経済産業省製造産業局長



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。我が国経済は、この4年間で名目GDPは44兆円増加し、国の税収も15兆円増えました。雇用は110万人近く拡大し、企業収益は過去最高水準を記録すると共に、3年連続高水準の賃上げを達成しました。この好循環を加速し、日本経済を成長軌道に乗せていく必要があります。

特に、少子高齢化に伴う働き手不足等、困難な構造問題に直面する我が国にとって、イノベーションを喚起し、企業の生産性向上を促し、競争力の強化を図っていくことが必要です。

そのためのひとつの鍵は、第四次産業革命への対応です。様々な分野において、IoTやAI等の技術を用い、新たなビジネスモデルを創出し、これまで充足されなかったニーズに対応することが可能になります。製造産業局においては、スマート工場や、自動走行、ロボット・ドローン等を活用した付加価値の創出を推進します。

第一に、スマート工場に向けた意欲的な取組を支援します。付加価値が「もの」そのものから「サービス」「ソリューション」へ移る中、製造企業は、単にいい「もの」を作るだけでは生き残れなくなっています。「もの」だけでなく、市場のニーズに応じた「サービス」「ソリューション」を提供できる「ものづくり+（プラス）企業」となることが期待されます。製造産業局では、「スマート工場」実証事業により、企業をまたぐデータ共有により付加価値を創出する先進事例の創出を図ります。また「スマートものづくり応援隊」の体制整備等を進め、中小企業による第四次産業革命への対応を支援します。昨年4月に共同声明を締結したドイツ等との連携を深め、国際標準化等の環境整備を進めます。

第二に、自動走行については、昨年6月の「自動走行ビジネス検討会中間とりまとめ」において、

将来像を共有すると共に、重要な「協調領域」として地図など8分野を定めました。今後、社会実装に向けて、より具体的な取組を進めます。トラック隊列走行の公道実証を開始し、無人自動走行による移動サービスの具体的な実証場所を選定し、将来の事業化を見据えた検討を加速します。

第三に、工場、介護等、多様な現場での活用が期待されるロボットについては、特に、普及のボトルネックとなっているシステムインテグレータの育成策を強化します。厚生労働省と協力し、介護現場における導入効果を検証し、介護報酬への反映等、導入円滑化を図ります。また、ドローンについて、性能評価基準の策定を進めるほか、運航管理システムの開発に着手します。

「成長と分配の好循環」を実現させるためには、賃上げ等の環境整備を進め、アベノミクスの果実を全国津々浦々に届けていくことが重要です。中小企業の取引条件を改善すると共に、サプライチェーン全体で付加価値を生み出す取組を進める必要があります。

昨年末、経済産業省では、下請取引の適正化を徹底するため、下請法の運用基準の改正等を行いました。これらの取組を先導する業界の方々には、自主行動計画の策定とその積極的な実施をしていただけることになりました。これらの取組を本年も引き続き進めます。

新たな保護主義が蔓延する中、グローバルなビジネス環境整備に向けた努力を続けることが必要です。自由貿易から最も恩恵を受けてきた我が国として、経済連携協定を推進すると共に、国際的な過剰供給問題や乱発されるADやSGへの対応に引き続き全力で取り組んでまいります。

末筆ながら、本年の皆様の御健康と御多幸を、そして我が国製造業の着実な発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 年頭に寄せて

片岡 隆一

経済産業省製造産業局産業機械課長



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

安倍政権発足以来、4年間にわたるアベノミクスにより日本経済は着実な回復を遂げております。回り始めた経済の好循環を持続的な経済成長に結びつけ、「戦後最大の名目GDP600兆円」の実現を目指すべく、政府は昨年6月に、「日本再興戦略2016」を決定いたしました。本戦略では、①新たな「有望成長市場」の戦略的創出、②人口減少に伴う供給制約や人手不足を克服する「生産性革命」、③新たな産業構造を支える「人材強化」の3つの課題に向けて、更なる改革に取り組んでいくことを宣言しております。

上記課題へ対応し、日本経済の未来を切り開く重要な鍵となるのが、「第4次産業革命」と呼ばれる革新的技術の創出とその活用です。ロボット、IoT、人工知能、ビッグデータなどの革新的技術を活用することにより、様々な分野で新しいビジネスモデルが登場し、これまで想像もつかなかったような商品やサービスが生み出されます。「第4次産業革命」においては、こうした新たな価値の提供が拡大することに加え、人手不足や環境といった社会的課題への対応も進展することで、潜在需要が飛躍的に開花します。さらに、革新的技術を最大限に活用することにより、人口減少社会での供給制約を克服する「生産性革命」の実現が期待されます。

我が国経済を支える製造業においても、多くの企業、とりわけ中堅・中小企業が、少子高齢化に伴う働き手不足や、投資の伸び悩み等の課題に直面しております。「第4次産業革命」によりそれら

課題に対応し、技術革新による果実を我が国全体に広げていくため、経済産業省としても、現場のニーズを把握し、企業におけるITやロボット導入の動きを最大限にサポートすべく施策を実施しております。例えば、ロボット分野では、汎用的な用途に活用できるプラットフォームロボットの開発や、企業に働きかけ最適な生産ラインの設計及びロボット導入を提案するロボットシステムインテグレータの育成等の事業により、中堅・中小企業を含むあらゆる企業が、より容易にロボットを導入できるようにしていきます。

産業機械産業は日本の製造産業の根幹を支えるものであり、我が国経済及び国民生活を広く支えております。まさに我が国産業の重要な土台とも言うべき産業機械産業に様々な形で関与され、それぞれの業種、産業における最新の技術動向を持ち寄り、情報共有やさらなる技術革新に向けた議論をなさっているという点で、皆様はユニークかつ大変貴重な存在であると実感しております。

「第4次産業革命」の最中、既存の組織や伝統的な業種の枠を越えたビジネスモデルの創出が目指されるところ、皆様の御活動の中から新たなアイデアやイノベーションが産み出されることを期待しております。

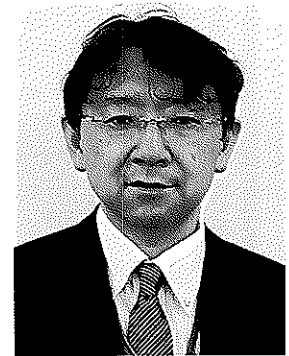
産業機械課としても、これからも皆様の生の声を聞き、それを政策に反映させていきたいと考えておりますので、ご提案やお困り事ございましたら、是非とも気軽にお声を掛けてください。

最後になりましたが、本年が皆様方にとってさらなる飛躍の年となりますように祈念いたしまして、新年の挨拶と代えさせていただきます。

# 年頭所感

原 孝 文

農林水産省生産局技術普及課長



平成29年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。一般社団法人日本農業機械工業会会員の皆様方におかれましては、平素より農業機械の開発及び普及に御尽力頂き、我が国農業の発展に多大なる御貢献を頂いており、改めて厚く御礼申し上げます。

農林水産省におきましては、農業者の所得向上を図るために、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決していく観点から、生産資材価格の引下げに取り組み、11月に「農業競争力強化プログラム」としてとりまとめました。

このプログラムの中で、生産資材については、生産資材価格の引下げと生産資材関連産業の国際競争力の強化を図ることとし、生産資材価格の見える化や各資材ごとの状況に応じた生産性の向上、銘柄数の削減等の取組、メーカーや業界の設備投資や再編を後押しする法整備等を進めていくこととしております。

中でも、農業機械については、開発目標を明確にして、民間企業・研究機関・農業者等の連携により国際競争力を有した農業機械の開発を促進する一方、型式検査の実績も乏しくなり、時代のニーズと合わなくなっている農業機械化促進法を廃止することとしております。

担い手への農地の集約化により作業面積が飛躍的に増えている現状も踏まえ、高耐久化や低コスト化、スマート農業等の展開のような技術革新が図られるよう、担い手、生産者団体、農業機械メー

カー、異分野産業、研究機関等による密接な連携関係を構築し、これまでの枠組みにとらわれない農業機械の開発を進めていく必要があると考えております。

また、農林水産省では、「生産資材価格の見える化ウェブサイト」の立ち上げを進めております。農業者が生産資材を調達する際に、比較して選択がしやすいような環境づくりに向けて、平成28年度末の整備を目指しております。各メーカーにおかれましても積極的なご活用をお願いいたします。

農作業安全対策については、年間350人前後の方が農作業死亡事故で亡くなっている大変重要な課題です。実効性ある農作業安全対策に必要なPDCAサイクルの構築に向けて、事故情報の収集・分析体制の強化や農業機械メーカーにおける安全設計を一層促進するとともに、高齢者をはじめ農業者一人一人の安全意識の向上や、安全に作業できる生産環境の整備など、実効性の高い取組を関係者の皆様とともに進めていきたいと考えております。各メーカーや業界の方々の積極的な取組にご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、わが国農業の担い手が希望を持てる「強い農業」の実現に向けて、これら課題の解決・実現に格別の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、農業機械業界の一層の御発展を祈念して、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

# 韓国出張報告



田村 敏彦  
(日農工・専務理事)

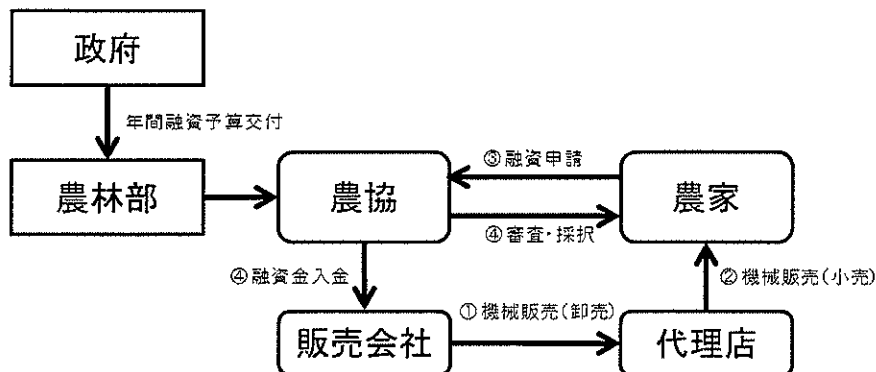
2016年11月9～11日に韓国へ出張し、ヤンマー農機코리아(株)、KAMICO（韓国農業機械工業協同組合）、韓国クボタ(株)、在韓日本大使館を訪問してきましたので、その概要について報告します。

韓国では農家が農機を購入する場合には、低利の農協融資制度(\*1)を利用していますが、本制度を所管している農林畜産食品部（日本の農林水産省に相当）が平成28年7月に制度変更を実施しました。具体的には、融資額算定の基礎となる小売価格の妥当性を評価するためという理由で、農機メーカーや輸入販売業者に対して詳細な原価情報、製品の仕様書、図面、材料一覧などの提出を義務付ける、という内容です。

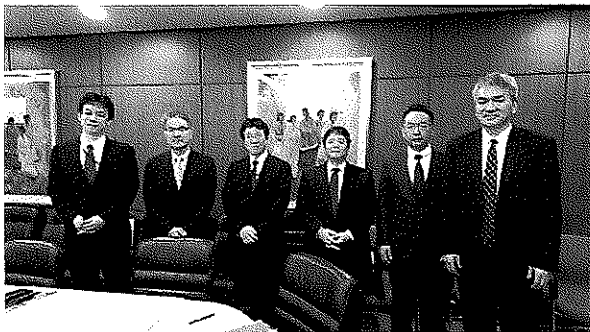
## (\*1) 韓国の農協融資制度

国内メーカーの農業機械の機種別平均小売価格をベースに融資上限額（平均価格の80%：融資率）を設定し、農家が農業機械を購入する際に、その上限額まで低利子（年2%）で農協が融資する制度。ただし、実際の小売価格の80%が上限額を超える場合は、上限額が融資対象となる。対象は、トラクター、コンバイン、田植機、野菜移植機など。

## 農協融資制度の手続きの流れ



今回の制度変更は日本の農機メーカーへの影響が非常に大きいことから、事実発覚以降、日農工は、現地の日系企業、大使館、ジェトロ、経済産業省と連携しながら問題解決に向けて適宜対応してきました。今回、事態打開のために、現地での事実関係の把握、関係者間での対処方針の再確認等を行ってきました。詳細については記載できませんが、本誌が発行される頃（平成29年2月）には既に本件が解決していることを願ってやみません。



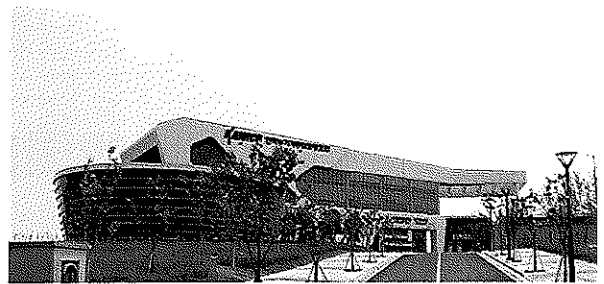
在韓日本大使館にて

中長期的には国内市場は緩やかな縮小傾向にあることから、海外市場に活路を見出す農機メーカーが今後も増えてくると思います。国ごとに規制や商習慣が違うため、不幸にも現地で困難に直面する可能性が想定されます。民間企業が単独で出来ることには限界があることから、日農工としては、政府関係機関等と連携しながら課題解決のために最大限の努力をしていきたいと考えています。



### 【KAMICO訪問】

韓国にも日農工に相当する組織がありKAMICO (Korea Agricultural Machinery Industry Cooperative) といいますが、日本語では「韓国農業機械工業協同組合」と訳すようです。政府が土地と建物を用意してくれており、会員企業からの会費と施設賃貸料を収入源として様々な活動を行っています。金・専務理事及び崔・貿易支援チーム長と面談し、お互いの活動内容について情報交換を行いました。



立派なKAMICOの事務所ビル

これを契機に、今後はもっと交流を深めていくことで意見が一致しました。その後、当方から農協融資問題にも言及しましたが、KAMICOからは韓国政府の主張を代弁する発言しか返ってきませんでした。想定範囲内でしたが、政府の施策に反対するのはタブーというKAMICOの置かれた立場を強く感じました。

### 【番外編】

私は辛いのが苦手なので唐辛子系は除けて食べていましたが、ほとんどの料理にニンニクが入っているため、食後の自分のゲップにウツ？でした。でも、食べている時はどれも美味しいので気にせずイっちゃいますね。



宮廷料理コース(ほんの一部)



定番の韓国焼肉





行列のできるサムゲタン専門店



熱々のサムゲタン



仁寺洞のメインストリート



金浦空港での民族舞踊

以上

## 新年賀詞交歓会

平成29年1月10日(火)東京都港区白金台・八芳園にて新年賀詞交歓会を開催しました。

来賓として、経済産業省大臣官房審議官三田紀之様、農林水産省生産局局長枝元真徹様から新年のご挨拶をいただきました。会員・関係省庁・関係団体を合わせ約220名の方々にご参加いただき、新春にふさわしい盛大な宴となりました。

会場では、新しく設立された「日農工・女性活躍ネットワーク」に各企業から参加される方にもお越しいただきました。

翌日の1月11日(水)に第1回会合が開かれ、参加されたみなさん全員が初めて顔を合わせました。



木下会長新年の挨拶



女性活躍ネットワーク参加者のみなさん

# ベトナム Foodexpo 出展報告

(経済産業省・地域ネットワーク活用海外展開支援事業)

日農工では、経済産業省の「地域ネットワーク活用海外展開支援事業」の補助を受け、2016年11月16日(水)～19日(土)の4日間、ベトナム・ホーチミン市において開催された「Vietnam Foodexpo 2016」にジャパンブースを出展した。

ベトナムでの出展は、ハノイ市(2014年)、カントー市(2015年)に続き今回で3回目になるが、同国における農業機械販売網の構築のため、輸入代理店の育成・強化、拡大を目指したもので、現地における具体的なマーケティング活動や受注に向けた営業活動を展開し、日本製農業機械の認知度を高めるとともに具体的な商談会を実施した。



展示会場となったSECCの外観



## 1. Vietnam Foodexpo 2016 概要

- [名称] Vietnam Foodexpo 2016 (併催 Foodtech)  
ベトナムの農水産業、食品業に関する  
ベトナム最大規模の国際展示会
- [会期] 2016年11月16日(水)～19日(土)
- [場所] ホーチミン市/Saigon Exhibition &  
Convention Center (SECC)
- [来場者] 26,972人/42カ国 (入場料無料)  
うち、業者13,189人、海外1,921人
- [出展社数] 402社/16カ国  
ベトナム (275社)、韓国 (56)、イタリ  
ア (42)、日本 (24)、中国 (20) など



オープニングセレモニー

## 2. JAPANブース概要

ジャパンブースは、(株)アテックス、カンリウ工業(株)、(株)タイガーカワシマ、マルマス機械(株)、(株)山本製作所による製品の展示・実演と併せて、ビデオやポスター・カタログによるPRも行い、販売網の構築・拡大を目指したマーケティング活動や受注に向けた活動を行うとともに、日本の農機の販売を希望する販売店及び輸入代理店との商談会(ビジネスマッチング)を実施した。



会場の全景 (主催者資料より)

### 3. 出展機械と来場者

各社の出展機械は以下のとおり。

- (株)アテックス (乗用草刈機、歩行型草刈機、自走式チップパー)
- カンリウ工業(株) (粃すり精米機、石抜機、小型昇降機、製粉機)
- (株)タイガーカワシマ (食品洗浄機、種子選別機)
- マルマス機械(株) (粃すり精米機、精米機、石抜機)
- (株)山本製作所 (乾燥機、精米機 (パネル))

主な来場者としては、ベトナム商工省 Ho Thi Kim Thoa 副大臣の来場に加え、数多くの販売代理店等の来場があった。また、ベトナム進出のサポート (輸入、物流、事務所・工場設立など) 目的での日本人来場者もあり、日本の農機メーカーが出展したことに対する関心の高さを感じた。

出展5社の来場者数

	来場者数	商談件数	引合件数
11/16(水)	280	76	17
11/17(木)	203	38	15
11/18(金)	255	51	39
11/19(土)	215	38	16
合計	953	203	87



(株)アテックスのブース



熱心に商品を見る来場者



カンリウ工業(株)のブース/製粉機の実演

展示会場で配布したチラシ(1,000枚)



ホーチミン市技術師範大学の学生



㈱タイガーカワシマのブース／野菜洗浄機の実演



㈱山本製作所のブース



テレビ局からの取材



商談の様子



マルマス機械㈱のブース



商工省 Ho Thi Kim Thoa 副大臣(中央)

#### 4. まとめ

今回の展示会は、農産物や加工食品に関連する展示が多く機械の展示は少なかったが、事前に農業関係団体、農機販売店及び報道機関等にPRを行ったことにより、JAPANブース目的での来場者も数多く見受けられた。来場した農機販売店の中には、昨年に引き続いての来場や事前にアポイントがあつての来場もあった。実際に機械を展示して実演を行ったことで、具体的なマーケティング活動が展開できたものと思う。

ほとんどの来場者は、日本製品に対して信頼性の高さを評価しているものの値段面での課題を口にした。但し、製品トラブルが発生した場合の問題も懸念しており、日本の農機メーカーとパートナーシップを結び、長期にわたって有益な関係が構築できることに期待を寄せていた。

今後の課題として、ベトナム市場への期待感はあるものの有力な輸入代理店や農機販売店が少なく、それら代理店作りが課題となる。また、部品加工や鋳物など現地企業が少なく、現地調達にも課題がある。今後、日本企業が求める品質レベルの部品を供給できる企業の育成・投資状況もリサーチする必要があると感じた。

## 5. その他

### [食 事]

ベトナムでの食事代は非常に安い。展示会場内で売られているサンドイッチ・パイミーは、一つ140円（100ドン=0.5円換算）だったが、美味しくボリュームもたっぷり。ただし、露天で売られているものは、もっと安く半額くらい。

通常、海外では割高と感じる日本食もここではお得感がある。日本食レストランで食べた天井定食は650円だった。ベトナム人をターゲットにしているお店では、このくらいの値段でないと利用しないとのこと。

この日本食レストラン、少なくとも中間層以上の人が多く利用しているようだが、夕食時には子供連れのベトナム人家族で満席となっていて、日本食ブームを肌で感じた。ちなみに、ベトナムの家庭は共稼ぎが多く、外食の頻度がかなり高いそうだ。



展示会場で買ったパイミー

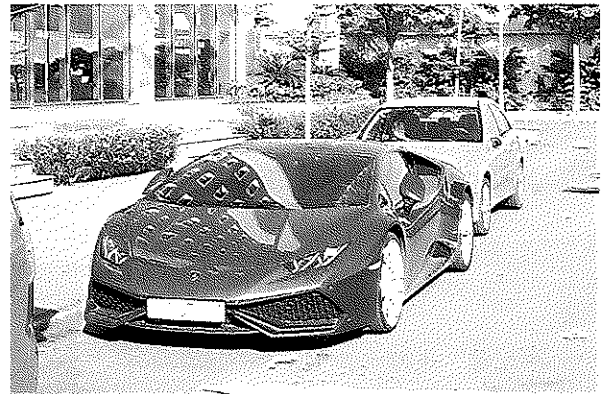
### [富裕層]

展示会場のある7区は高級住宅街であり、売値は4,000万円クラス。基本給が3万円程度と言われるこの国で、到底、手が届くはずがないどころか、生活もままならないと思うのだが、実際には、副業あり、共稼ぎありで、世帯収入はある程度確

保されている。

さらに、向上心が高く、語学学校に行ってスキルアップを目指す若者が多く、高給職場への転職も非常に多いそうだ。

当然、地方よりも大都市、特にホーチミンに富裕層が多いが、通訳さんが言うには「儲けている人は、とんでもないくらいに儲けていますよ。頑張れば頑張っただけの収入が得られる国です。」と。輸入完成車にかかる関税も安くはないのにもかかわらず、道幅を埋め尽くすように走るバイクの群れの中に、高級車も頻繁に目にした。



ホテルの前に駐車していたスポーツカー

### [空港の売店で]

ちょうど一年前、ホーチミンの空港内の売店でのこと。たまたま持ち合わせていた中国元での支払いをしようとしたのだが、ことごとく断られた経緯がある。

悪戯心で、今年も同じ売店でチャレンジしたところ、あっさりとOK返事。ベトナムの変化はめまぐるしいと耳にするが、些細なこととは思いつつ、この一件、何だかやけに納得してして帰国の途についた。

(日農工 松山 徹)

# Photo Gallery ③4



神奈川県 小澤修平さん

タイトル: はしごのり

お正月、「江戸消防記念会」によるハシゴ乗りを見学しました。東京湾からの海風が吹き荒れる中、粋な法被姿で流石の伝統芸を見せていただきました。

(このハシゴは建物の3階ほどの高さです。)

東京都 尾崎美知子さん

タイトル: 元日の富士(みなとみらい)

空気がひんやりと澄み、とてもいい富士山が撮れました。(^o^)

日本人の誰もが大好きな富士山。

2017年、みなさんが健やかで、震災のない日本でおねがいたします。



群馬県 内田信也さん

タイトル: 塩鮭

築地場外市場に吊された立派な鮭です。家庭では絶対食べきれないな、すごく大物です。今年、豊洲へ移転するんでしょうか。鮭も首を長くして待ってる!??



奈良県 斎藤まりえさん

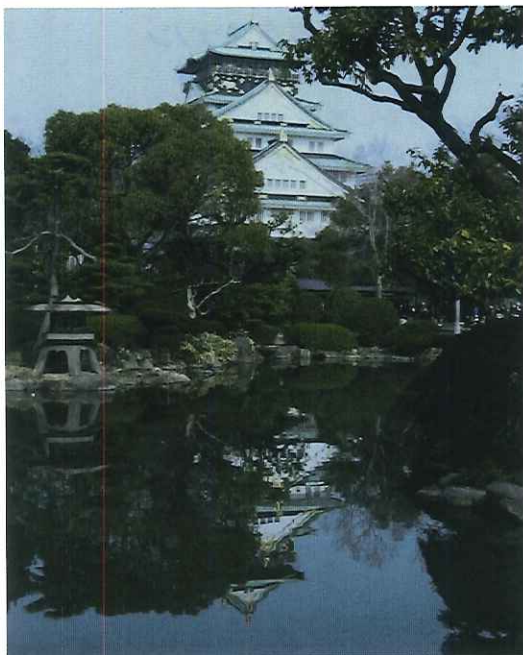
タイトル: 可愛い

暖冬なのか冬が遅いのか、晩秋の紅葉狩りに、落ち葉が緑の大樹の根に咲き誇り、逆さ紅葉がなんとも不思議。

埼玉県 加藤知輝さん

タイトル: 真っ赤

静岡県富士宮市の、田貫湖の紅葉です。自然の発色、鮮やかさは本当に美しいです。「逆さ富士」「ダイヤモンド富士」で人気の湖で、釣り客も多い人気スポットです。



大阪府 土肥 繁さん

タイトル: トライアスロン

大阪城です。今年、大阪城の堀を泳ぐトライアスロンが計画されてます。泳げる水質基準になってるということですね。大阪の環境向上と、阪神タイガース優勝してほしい。



広島県 野口順平さん

タイトル: ホーチミン

ベトナム・ホーチミンの風景です。  
アオザイに帽子がお似合いです。  
どこの国へ行っても携帯電話を持っています。

新潟県 市橋陽子さん

タイトル: 崩れかけた高層ビル?

写真中央に、完成間近の斬新なビル。  
タイ・バンコクには、変わったデザインのビル  
が多く有ります。地震の無い国はいいですね。



東京都 服部俊介さん

タイトル: 東京マラソン

パン食い競争ではありません。ランナーは  
疲れ、エネルギーが欠乏するのです。  
(タイムを気にしてる様子は、まったくあり  
ませんです。) ボランティアの方々、本当に  
いつもありがとうございます。

### 投稿写真を募集しています

- ・次回夏季号の写真切りは平成29年5月20日です。ジャンルは自由です。
- ・フィルムカメラや、デジタルカメラで撮影した写真を、必ずタイトルとコメントを添えてご応募下さい。採用された方には記念品を送らせていただきます。

応募先: 一般社団法人日本農業機械工業会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

E-mail: sunflower@jfmma.or.jp



## ～フランス見本市協会からのお知らせ～

シマは、フランスのイベント・オーガナイザーであるコメクスポジウム社によって運営され、2年に1度パリで開催される農業機械・畜産関連の国際見本市です。シマ(SIMA)展はハイパフォーマンスで持続可能な農業を発展させるべくスタートした国際見本市であり、現在フランス、アルジェリア、タイの3ヶ国で開催されています。2017年展で77回目の開催となり、2015年には世界142ヶ国から238,848人の業界関係者が来場、40ヶ国から1,740社が出展しました。農業機械がメインとなりますが、畜産分野での繁殖・遺伝育種技術に関する見本市「シマジエナ(SIMAGENA)」も同会場で共同開催されます。会場内で実際に牛の競りが行われ、屋外スペースでもトラクターのデモンストレーションが行われるなど、ダイナミックな見本市としても有名です。今回は「10年後の農業」というテーマを掲げ、デジタル技術・ゲノム研究・バイオエコノミー・ロボット工学の4つの軸を中心に展示やイベントを行います。

また、2月27日(月)にはバイヤーと出展者とのマッチングプログラム「DEALER'S DAY-TING」も開催する予定です。その他、シマ展では会期中、パリ市内・近郊にある農機メーカーや農場、牧場の見学ツアーなども企画していますので、ご興味ある方はフランス見本市協会までお問合せください。第77回シマ展は2017年2月26日(日)～3月2日(木)開催予定です。

### <2017年シマ展概要>

- 会期：2017年2月26日(日)～3月2日(木) 8:30～18:00予定
- 会場：フランス パリ・ノール見本市会場
- 出展内容：トラクター、トラクターをはじめとする農業機械関連パーツ・電子機器、耕うん機・播種機・田植え機、肥料・農薬・殺虫剤、灌漑システム、収穫関連機器、収穫後関連機器(洗浄・仕分け等)、食品加工・食品包装、機器、熱帯地域や特殊作物用関連機器、ロジスティクス関連機器、乳製品・搾乳関連機器、繁殖用関連機器、ブリーダーおよびブリーダー協会、ガーデニング・造園関連機器、農業分野での持続可能な開発・再生可能エネルギー、農業関連サービスやコンサルティング、農業関連最新ITシステム等
- シマ展公式サイト：<https://en.simaonline.com>

※シマ展にご来場予定の方は公式サイトにて事前登録いただき、入場バッジを入手してください。事前登録の際、下記のコードをご利用いただければ無料で入場バッジを入手できます。

無料コード：INTQ3GTWA



詳しくはフランス見本市協会までお問合せください。

〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-22  
JCビルディング2F

TEL: 03-6809-1650

E-mail: [japan@promosalons.com](mailto:japan@promosalons.com)

## Q: 原因不明の鼻水 鼻づまりの対処法は？

〈相談者／54歳男性〉

ここ半年ほど、鼻水、鼻づまり、くしゃみといった鼻炎の症状が頻繁にあり、何かのアレルギーがあるかと思い、アレルギー検査を受けましたが該当なしでした。症状を抑える薬を処方されましたが、空気が乾燥している場所に行くと症状が悪化します。対処法を教えてください。

### A: 原因不明の鼻過敏症「血管運動性鼻炎」。治療には主に抗ヒスタミン薬や点鼻薬を使用する

鼻汁、くしゃみ、鼻づまりをおこす代表的な病気がアレルギー性鼻炎です。鼻炎の診断は問診、鼻汁中好酸球検査、スギ・ホコリ・ダニなどの抗原特異的IgE検査(RAST)、鼻誘発試験などを行います。原因抗原が特定できればアレルギー性鼻炎の確定診断となります。しかし検査結果すべてが陰性で、原因となる抗原物質をどれだけ調べても見つからない、つまりアレルギーはないと考えるしかないケースがあります。そのような原因不明の鼻過敏症を「本能的鼻炎」あるいは「血管運動性鼻炎」といいます。

血管運動性鼻炎の人は、季節の変わり目や早朝、起床後に窓を開け外気を入れたとき、室内外を移動した直後などで急激な温度変化のあるときなどに、くしゃみとともに水様性鼻汁が出ます。中年以降の女性に多いのですが、男性でも60歳以上になると老人性鼻炎と呼ばれる血管

運動性鼻炎と同じ症状がおきることがあります。とくに食事中に鼻水がたれてくると、症状がっらいだけでなく、人目も気にしなくてはなりません。

血管運動性鼻炎は、自律神経のバランスが崩れ、交感神経系の働きが弱くなっておこると考えられています。症状が悪化する要因としては、精神的ストレス、甲状腺機能異常、妊娠、ある種の血圧降下剤、鼻粘膜収縮用の点鼻薬の使いすぎ、香料やタバコの煙による刺激などがあげられます。

したがって血管運動性鼻炎の予防には、日常生活のなかからそれらの原因を排除することがもっとも大切です。血管運動性鼻炎の症状はアレルギー性鼻炎と変わりませんので、治療もほぼ同じように行われます。鼻水を抑えるためには抗ヒスタミン薬の内服薬や点鼻薬を使用します。鼻閉(鼻づまり)を伴う人にはステロイドの点鼻薬が効果的です。症状の激しいときには一時的にステロイドの内服薬が使われることもあります。



## 糖尿病予備軍にならないため!

生活習慣病の中でも、糖尿病は目立って恐ろしいようには見えないものの、発症するまで気づきにくいことや、合併症を起こすリスクがあるため、「自分は関係ない」と思うあなたも、ひそかに糖尿病が進行している可能性があります。そこで「糖尿病予備軍」のチェック方法や、糖尿病の原因といわれる「食べ過ぎ」防止ポイントを見ていこうと思います。

### ■あなたも“糖尿病予備軍”かも？

糖尿病とは、血糖値が高くなる病気で、通常の上限140よりも高い状態「高血糖」が続く病気だ。高血糖はよほど高い数値でない限り、命の危険にまでは及ばないといわれているが、失明することもある糖尿病網膜症や、しびれが続く糖尿病神経障害、透析を週に約3回も受けなくては生存できない糖尿病腎症などの合併症は恐ろしいものである。厚生労働省の「平成25年国民健康・栄養調査」の結果によれば、糖尿病が強く疑われる人たちは男性16.2%、女性9.2%であり、50代以降に増えることが分かった。

空腹時血糖値やブドウ糖負荷試験による値が、正常より高く、糖尿病と診断するにはまだ低い場合、「糖尿病予備軍」と呼ばれる。なぜ予備軍が取り上げられるのかといえば、糖尿病にかかっても、初期には症状がほとんどないからだ。進行してはじめて、のどが渇く、疲れやすい、多尿、食欲増進などの状態が現れてくるという。そしてこれがさらに進行すると、先に紹介した合併症が起きてくる。よって、深刻な糖尿病を避けるためには、症状がなくとも、「血糖値が正常より少し高い」、という段階ですぐに改善すべきなのだ。

### ■糖尿病の原因とは？

あなたは今年受けた健診結果を見て、ちょっと血糖値が気になり、「予備軍」に心当たりがありはしないだろうか？ また、親族に糖尿病の人がいたり、食べてもすぐお腹がすいてしまったり、よく食べているわりには体重が減ってきたり、疲れやすかったり、のどが渇きやすかったりする人は要注意だ。これらはすべて糖尿病予備軍の兆候だといわれる。糖尿病の特徴である高血糖はなぜ起きる

のかといえば、長年繰り返してきた食べ過ぎや飲み過ぎだといわれる。血糖値が高くなりやすい身体は、血糖が細胞に入り込んでエネルギー化される過程において重要な「インスリン」が働きにくくなる。特に内蔵脂肪型の肥満患者に多く見られるという。よって、予防法としては、肥満を避けるために食生活と運動習慣に気を配ることがポイントになる。

### ■食べ過ぎ防止のポイント

そこで、糖尿病や肥満へと促される、大元のNG行動としての「食べ過ぎ」を、どう防止すればいいのかを見ていこう。会社の懇親会、友人との呑み会などでも注意して実践したい。

### ■食物繊維を活用する

食物繊維は、腸の調子を良くし、便秘解消に効果的に働くというイメージがあるが、食べ過ぎ防止にも有効だ。食物繊維とは、食物に含まれる「難消化性成分」の総称で、いわゆる人間の消化酵素による消化活動において、消化されない成分のことである。食物繊維は、噛み応えがあるため、満足感も高くなり、よく噛む効果で脳内ヒスタミンが分泌され、食欲が抑制されやすくなる。

また、胃や腸の中で数倍～数十倍に膨らむものもあり、胃腸が刺激されて自然な満腹感を得やすくなるのだ。代表的な食物繊維の多い食材としては、ライ麦パン、オートミール、切り干し大根、ごぼう、モロヘイヤ、きくらげ、干ししいたけ、干し柿、干しいちじく、干しプルーン、アボカド、豆類、栗などがある。ぜひ積極的に選ぼう。

### ■和食を選ぶ

和食は、何気ない中でも食べ過ぎ防止の工夫がふんだんに施されている。例えば、味噌汁などの汁物は、腹を満たしてくれやすい。また、和食はごはんやおかず、汁物などを交互にちょこちょこ食べるのが通例だ。一つの物をひたすら食べるよりも、交互に少しずつ食べたほうがそれぞれを少ない量に留めることができるといわれている。もちろん、洋食と比べて脂肪分が少なく、栄養バランスに優れているのもおすすめの理由だ。

# 除雪機による 事故を防ごう!

使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう

## 人がいる時は 使わない!



作業中は絶対にまわりに人を近づかせない。

## エンジンを 掛けたまま 離れない!



作業の時以外は、必ずエンジンを停止する。

## 雪かき棒を 使って!





雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて必ず雪かき棒を使う。

## 後方注意!



後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。

 必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。  
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく利用してください。

 除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、普及に努めています。

除雪機安全協議会  
一般社団法人 日本農業機械工業会

<http://www.jfmma/or.jp/>

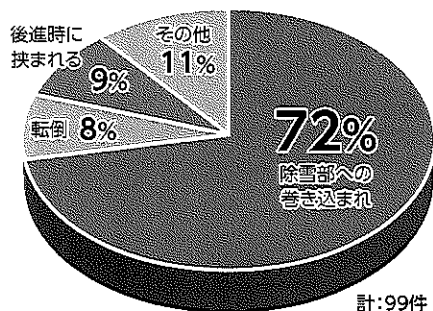
除雪機安全協議会

# 除雪機を安全にお使い頂くために

## 除雪機利用中の3大事故と事故原因

出典：(独)製品評価技術基盤機構  
「事故情報データベース」

### 除雪機の事故事例



#### 除雪部の巻き込み

- ・エンジンを停止せずに除雪部に近づく。
- ・周囲の確認が不足して他者を巻き込む。

#### 転倒事故

- ・無理な姿勢で作業や機械の移動を行う。
- ・不注意により足を引っ掛けて転倒する。

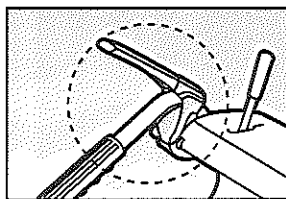
#### 後進時に挟まれる

- ・後進時の周辺確認が十分でない。
- ・後進速度が速すぎて機械の操作を誤る。

除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

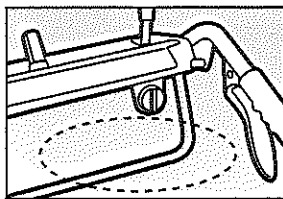
## 除雪機の主な安全機構

※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。



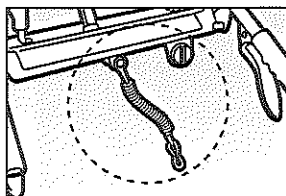
### デッドマンクラッチ

現在販売される全ての除雪機に搭載される、クラッチを放すと機械が止まる機構です。



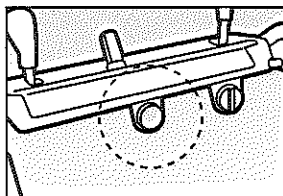
### 緊急停止バー

バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



### 緊急停止クリップ

コードを引き抜くと機械が停止します。クリップを体に付けておけば、機械が離れた時に停止させることができます。



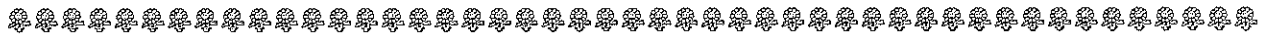
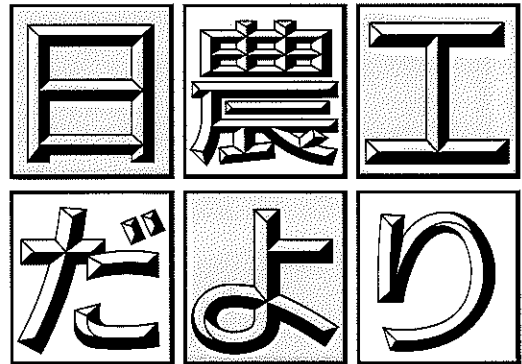
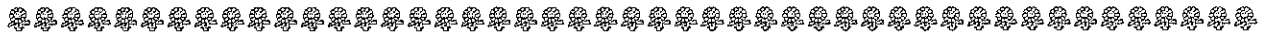
### 緊急停止ボタン

ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構の無効化は非常に危険です。絶対に改造しないでください。

## 注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 雪詰まりを取り除くときは、エンジンを停めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停める。
- 後進するときは、足下や後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は絶対に人を近づけない。
- 安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。



### 地方大会ご挨拶

平成28年10月21日(金)愛媛県松山市・松山全日空ホテルにて、地方大会(第141回理事会)を開催いたしました。



木下会長挨拶(井関農機(株)社長)

#### ◆会長挨拶

平成28年度の「日農工・地方大会」を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。この度の松山市での地方大会開催をご案内しましたところ、会員の皆様には大変お忙しい中、多数のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、経済産業省の片岡課長様、農林水産省の土佐課長補佐様、革新工学センターの藤村所長様をはじめ、ご来賓の皆様には、公務ご多忙の中、ご臨席を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の景気は、9月の内閣府・月例経済報告によりますと、「景気は、このところ弱さも見られるものの、穏やかな回復基調が続いてい



経済産業省 片岡産業機械課長

る」とされておりますが、中国の輸出不振による景気減速やFRBの利上げ観測を背景とした円高の動きは、我が国の景気を下押しするリスクがあります。

また、英国のEU離脱や米国大統領候補の保護主義的な発言などは、貿易自由化の流れを阻害する要因をはらんでおり、国際経済の不確実性にも注視する必要があります。

こうした中で、昨年の「TPPの大筋合意」を受け、「総合的なTPP関連政策大綱」が策定され、また、本年6月には、アベノミクス第三弾として新たな成長戦略「日本再興戦略2016」が閣議決定されました。この中で、農林水産分野においては、「攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化」の方向が示され、農業機械に関しては、ロボット農機などの「スマート農業の推進」、「生産資材の価格形成の仕組みの見直し」について検討が行われています。特に、生産資材については、現在、政府・与党において農業者の所得の確保を図るた



農林水産省 土佐技術普及課長補佐

めの対策が検討される中で議論が行われており、農機業界からも、コスト低減の努力をお伝えしているところです。

農業生産につきましては、一時日照不足の地域や相継いだ台風の来襲などがあったものの、概ね天候に恵まれ、28年産水稻の9月15日現在の作況指数は103とやや良の収穫が予想されております。

一昨年大幅に下落した米価につきましては昨年に続き2年連続で回復しております。28年産米の9月の全銘柄平均の相対取引価格は、前年比9%高、1万4千円を超える水準となり、ここ数年の平均的な米価の水準にあります。

本年度の日農工の活動につきましては、「日農工コンプライアンス指針」の下に、こうした動きに適確に対応しつつ、5月の総会で承認されました事業計画に即して、各種事業について順調に進めてきております。

いくつか申し上げますと、まず、農作業安全啓発活動につきましては、富山県での農業機械総合大展示会への出展を行っており、秋田県種苗交換会への出展も準備しております。

海外展開につきましては、経済産業省の補助金を得て、昨年に続き、11月にベトナムでの展示会に出展することとしております。

また、スマート農業の推進につきましては、8月に技術安全対策委員会の下にロボット農機分科会を設置し、対応体制の強化を図っております。

そのほか、証明書発行業務につきましては、9月末現在で、生産性向上設備投資促進税制が1,047件、中小企業等経営強化法が27件となっております。

さて、私ども農機業界の状況を日農工統計から

みてみますと、本年1月から9月までの累計生産・出荷実績は、生産額が3,000億円と前年同期比85%、出荷額が3,360億円、同88%で推移しております。その内、国内向けの出荷額は、2,100億円と88%となっております。米価の回復や担い手向け大型機械の動きは好調であったものの、排ガス規制やこれに伴う駆け込み需要の反動に加え、TPPの影響を受け、回復が遅れている状況にあります。



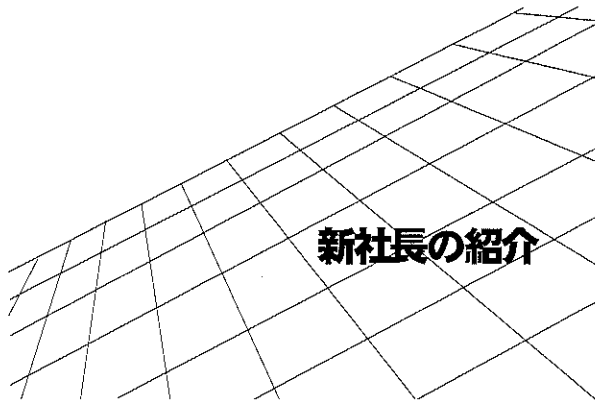
農業技術革新工学研究センター 藤村所長

後ほど各部会の機種別の需要見通しについて、各部会長、国際委員長から詳細な報告をいただくことにしております。国内外の状況を踏まえ、今後の方向について、率直な意見交換をしていただきたいと思っております。

松山市は「おもてなし日本一のまち」を目指しており、市のキャッチフレーズは「一人でも多くの人を笑顔に」です。その松山で皆様が一堂に会えるこの機会に、笑顔でおおいに交流していただいて、親睦を深めていただきたいと思います。

最後になりますが、会員各位の益々のご繁栄を祈念し、併せて業界のさらなる発展を願い、甚だ簡単ではございますが、私の挨拶といたします。

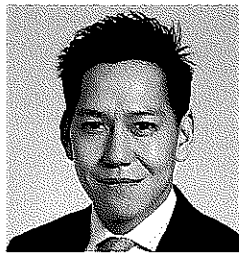
以上



## 新社長の紹介

### 〈小橋工業株式会社〉

小橋正次郎(こばししょうじろう)氏が代表取締役社長に就任されました。



小橋社長の主な経歴は、2007年3月青山学院大学経済学部経済学科卒業、2008年5月小橋工業㈱入社、同年8月小橋工業㈱取締役、2009年8月小橋金属㈱代表取締役社長、2012年7月コバシ倉庫㈱代表取締役社長、2015年7月小橋工業㈱代表取締役専務、2016年10月17日小橋工業㈱代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「農家の手作業を機械に置き換える」という事業理念に基づいて、ただ一心に本業に邁進し、前社長が築き上げた基盤の上に、自分なりの経営をしていきたいと考えております。

前社長の真似をするつもりはなく、受け継ぐべきところは受け継ぎ、変えるべきところは変えていくつもりです。そして「耕うん爪と作業機の両方を開発・製造するメーカー」である弊社にしか提供できない「価値」を寸断無く提供していくことで、社会から求められる会社にしていきます。

趣味はゴルフ、トライアスロン  
座右の銘は、「物腰は柔らかく、意志は強固に」  
岡山県出身、血液型はO型  
家族は夫人と長女(3歳)・長男(1歳)

(本社所在地)

〒701-0292

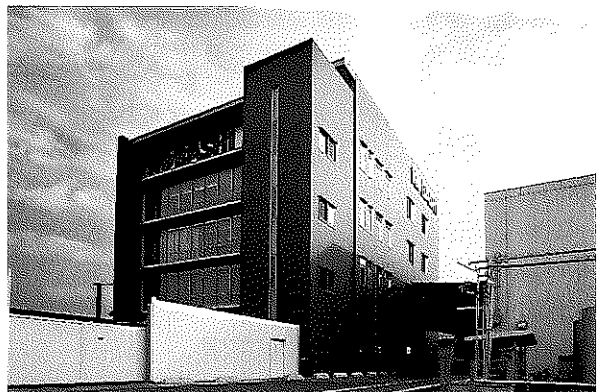
岡山県岡山市南区中畦684

小橋工業株式会社

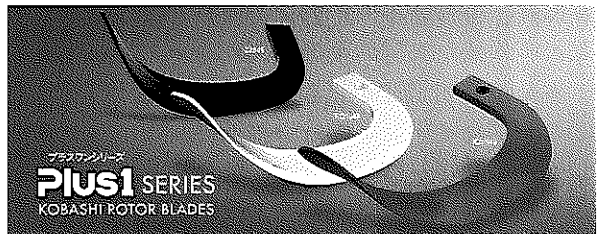
TEL086-298-3111 / FAX086-298-9010

コバシ 耕うん爪、トラクタ用ロータリー、トラクタ用代かき機、あぜ塗り機、野菜収穫機等、農業用機械・部品の製造、販売。

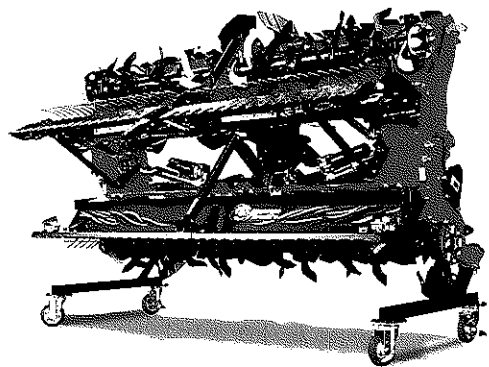
ホームページ <http://www.kobashikogyo.com>



創造館



プラスワンシリーズ

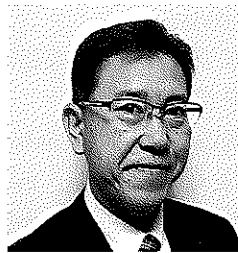


TXF410



## 〈株式会社 デリカ〉

金子孝彦(かねこ・たかひこ)氏が代表取締役社長に就任されました。



金子社長の主な経歴は、昭和58年4月松本商工会議所入所、平成15年4月中小企業診断士登録、平成18年4月工業支援課長兼センター長、平成26年4月(株)デリカ入社・経営企画室長兼総務部次長拝命、平成26年12月取締役就任・経営企画部長兼総務部長、平成28年12月22日株式会社デリカ代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「弊社は農業機械の作業機メーカーとして、そしてトラクタ用3点リンクの専門メーカーとして、64年の長きにわたり、微力ながら日本農業の発展に、努力して参りました。

これからも「有機農業を応援します」をキャッチフレーズにメイン商品のマニアスプレッダを始め、有機農業に貢献する製品を提供し、地球環境と、食の「安全・安心」に貢献して参りたいと思います。

そのためには私自身が、旧に倍してお客様の声に耳を傾けるとともに、GPS技術やロボット技術を活用した新しい取組も果敢にチャレンジしていかなければならないと考えております。

兎にも角にも「お客様が本当に必要とする価値は何か」この一点に集中してすべての取組を実行する所存です。

今後も、『明るく！元気に！』を基本姿勢として「怒新誠創」の理念のもと、お客様に喜ばれ役立つ製品が提供できる企業を目指して参りますので、ご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。」

趣味は、読書、ゴルフ、旅行

座右の銘は、「知行合一」

長野県出身、血液型はA型

家族は夫人とご両親

(所在地)

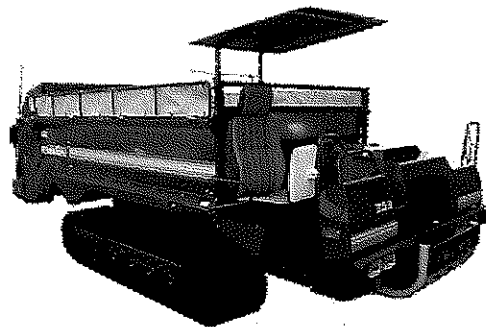
〒390-1242

長野県松本市大字和田5511-11

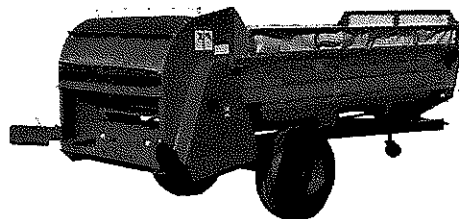
株式会社デリカ

TEL0263-48-1180 / FAX0263-48-1190

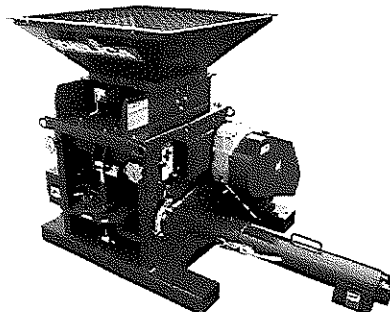
ホームページ <http://www.delica-kk.co.jp>



DAM-353S ハウス・果樹園に対応する小型から中・大型のクローラタイプまで、あらゆるニーズに対応



DXS-2010 圃場条件・積載量に応じた26種類のラインナップ。堆肥散布のスタンダード機



DHC-4020M V溝型ローラで効率よく飼料穀物を破碎。新たに玄米用のDHC-4100Mも登場

## 〈新農業機械実用化促進株式会社〉

小西 孝蔵(こにし・こうぞう)氏が代表取締役社長に就任されました。

小西社長の主な経歴は、昭和50年3月東京大学法学部卒業、同4月農林水産省入省、昭和53年6月米国パデュー大学農業経済学部大学院(2年間)、昭和62年4月栃木県庁農業経済課長出向(3年間)、平成3年6月在連合王国(英)日本大使館出向(参事官)(3年間)、平成15年7月大臣官房国際部長、平成18年7月農林水産政策研究所長、平成20年6月農林中央金庫監事(常勤)(6年間)、平成27年6月新農機(株)常勤監査役、平成28年12月1日新農業機械実用化促進株式会社代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

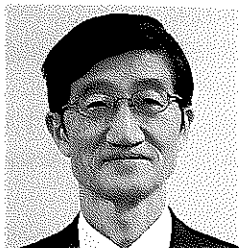
「少子高齢化、後継者不足の課題に直面する日本農業において、省力化や生産性の向上に資する農業機械の開発促進は、時代の急務となっています。また、グローバル時代の技術大国日本において、現場適用力が高く、先端的技術が活用できる農業機械の開発は、世界の農業特にアジア農業の生産性向上モデルとなるものと期待しています。このような認識の下で、農林水産省等の行政、農機メーカー、農業者との密接な連携(コワーク)を図りつつ、現場ニーズに沿った農業機械の開発と実用化促進を図るために、緊プロ事業の果たす役割は今後とも重要であり続けると確信しております。当社社長として、役職員一体となって、皆様方のご期待に添えるよう、誠心誠意努力してまいりますので、引き続き、ご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。」

趣味は、ガーデニング、都市と農村の交流活動、野球・音楽鑑賞、旅行

座右の銘は、「天命に従って人事を尽くす」

兵庫県出身、血液型はA型

家族は夫人と1男2女



(所在地)

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-18-6

第一谷ビル5F

新農業機械実用化促進株式会社

TEL03-6206-0681 / FAX03-6206-0682

ホームページ <http://www.shinnouki.co.jp>

### 日農工今後の主な予定

◇平成29年3月16日(木) 理事会

機械振興会館 14:30~(予定)

東京都港区芝公園3-5-8

◇平成29年5月29日(月) 定時総会

従業員功労表彰式

八芳園 15:00~(予定)

東京都港区白金台1-1-1

◇平成29年10月30日(月) 地方大会

ホテルアトールエメラルド宮古島

幹部会 15:00~(予定)

地方大会 16:00~(予定)

懇親会 18:30~(予定)

◇平成30年1月11日(木) 新年賀詞交歓会

八芳園 12:00~13:30

東京都港区白金台1-1-1



## 編集後記



▽ コーポレート・アイデンティティ(CI)を日本で最初に導入したのは、1975年のマツダ(当時の東洋工業)だと言われています。企業が掲げる理念や存在価値を体系的に整理し、それに基づく行動指針を内外で共有することでより良い企業活動を行っていかうということですが、「情報の90%は視覚を通じて伝わる」と言われるように、ロゴマークは重要な位置を占めています。その流れはブランディングとしてマーケティング戦略の一つになっており、今では企業のロゴマークは製品の差別化ツールとしてすっかり定着しています。

▽ さて、このような動きは工業会にも及んでおり、多くの団体でロゴマークを持っています。日農工と付き合いのある海外の工業会のロゴマークを比べてみると、お国柄が見えてきて面白い。デザイン的に洗練されているのは、やっぱりフランスのAXEMAとイタリアのUNACOMAが双璧でしょうね、きっと。



一応、アジアから中国のCAMDAと韓国KAMICOはこのとおり・・・上2つと比べるとかなりダサイ。



▽ えっ、日農工のロゴマークはどうなんだ？って、実は・・・ないんですよ。あ～恥ずかしい。